

健やかな体の育成プラン

重点取組分野		具体的取組
健やかな体		①運動の特性を味わい、運動する楽しさを感じられるようにしたり、保健学習で自分の心や体の健康に関して課題解決的に学習を進め、健康意識を高めたりできるようにするために、体育科学習の授業の充実を図る。 ②体力の向上や健康の促進のために、家庭や外部機関(スポーツ協会や学校医)、委員会活動と連携を図り、子どもが日常的に取り組めるテーマ(なわとび記録会・運動週間・むし歯予防週間など)を設定し、子どもたちが主体となる活動に取り組んでいく。子ども達の実態に合った健康面での課題を克服するために学校保健委員会を年2回開催する。
担当	健やかな体部	

健やかな体に関わる本校の状況
(1)体力テストの結果から 体力・運動能力においては、どの学年も市の平均値を下回っている。また学年によって大きく差がついているものある。多くの種目で平均値を下回っているうち、特にボール投げの数値においてはどの学年も著しく低くなっている。これは、授業時間を除くと、多くの児童がボールを使った遊び・運動に触れる機会が少ないことが伺える。また睡眠時間が短く、テレビ等の視聴時間が長い傾向も見られ、正しい生活習慣が身に付けられていない児童が多くなってきている。 (グラフは令和6年度、第6学年を抽出) 令和6年度 小学6年生 男子 令和6年度 小学6年生 女子 (2)これまでの学校の取り組み状況 本校では、なわとび運動を長年実施しており、学年チャンピオンの跳べた回数が廊下の掲示板上に貼られるなど、運動に親しむ機会を与えることで、多くの子どもたちは目的意識をもって楽しみながら運動に取り組んでいる。

今年度の目標	
子どもたちが自己の健康に関する興味関心を高め、健康の保持増進のために主体的に取り組めるように支援します。委員会活動と連携し、子どもたちが主体的に参加できる体づくり活動に取り組めます。	
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	・運動の特性に触れ、運動する楽しさを味わい、子どもたちが課題に対して自己解決できるようにするために、運動の場を工夫したり、学習のルールを子ども共に考えたりしていく。 ・前期に行った縄跳び記録会や体づくり運動(用具操作)、委員会活動と連携した活動をすることで、通年継続的に取り組めるように機会を設定した。今後も全校で楽しく取り組めるようにしていく。 ・学校保健委員会で「手洗い」をテーマに、保健委員会の子どもが主体となり、活動をしてきた。第二回に向け、学校医の先生からご助言をいただき、校内の健康意識を高めていく。 ・栄養職員や給食委員会の子どもたちが主となり、正しい食事の仕方や食文化について伝える活動を行う。 ・体力テストの結果から、子どもが自身の体力や健康に関する意識を高められるように、各クラスで資料の見方を指導したり、運動委員会や保健委員会から情報を発信したりする。さらに、体力向上のための具体的な方法(運動の仕方)をポスター掲示する。
下半期	